RICOH

IPSiO SP 3410

ソフトウェアガイド

1 印刷するための準備

2 印刷する

3 機器の監視

4 付録

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1.複製、印刷することが禁止されているもの
　（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）
- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙

（関係法律）
- 紙幣類似証券取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- （刑法 第１４８条 第１６２条）

2.不正に複製、印刷することが禁止されているもの
- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

（関係法律）
- 刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3.著作権法で保護されているもの
　著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

目次

使用説明書について 4
使用説明書の紹介 4
　使用説明書一覧表 5
マークについて 5

1. 印刷するための準備

接続方法を確認する 7
ネットワーク接続 7
　Windows の印刷ポートを使用する 7
　プリントサーバーを使用する 8
ローカル接続 8
プリンタードライバーについて 9
ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする 10
プリンタードライバーのインストール 10
　テストページを印刷する 10
　Smart Organizing Monitor をインストールする 12
　本機の IP アドレスを手動で設定する 13
　プリンタードライバーをインストールする 14
　ネットワークプリンターの検索に失敗した場合 16
Windows ネットワークプリンターを使う 17
ネットワーク接続がうまくいかないとき 18
USB 接続でプリンタードライバーをインストールする 19
USB 接続がうまくいかないとき 21
プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき 22
Windows 2000 の場合 22
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合 22
Windows Vista、Windows Server 2008 の場合 22
オプション構成や用紙の設定 23
双方向通信が可能な条件 24

2. 印刷する

プリンタードライバー画面と設定方法 25
Windows 2000 の場合 25
　Windows 2000 で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する 25
　Windows 2000 で［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示する 26
　Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する 27
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合 28
　Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で［プリンタと FAX］ウィンドウからプロパティを表示する . . . 28
　Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で［プリンタと FAX］ウィンドウから印刷設定を表示する . . . 29
　Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 でアプリケーションからプロパティを表示する 30
Windows Vista、Windows Server 2008 の場合 31
　Windows Vista、Windows Server 2008 で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する 31
　Windows Vista、Windows Server 2008 で［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示する 32
　Windows Vista、Windows Server 2008 でアプリケーションからプロパティを表示する 33

本機の基本的な使いかた 34
用紙エラーが発生したとき 35
強制印刷をする 35
用紙設定を変更して印刷する 36
プリントジョブをリセットする 36
印刷開始前にジョブを中止する 37
操作部を使って印刷を中止する 37
パソコンから印刷を中止する 37
印刷中にジョブを中止する 38
いろいろな印刷 39
ソートについて 39
表紙について 39
スタンプ印字について 40

3. 機器の監視

Web Image Monitor を使う 41
トップページを表示する 42
トップページの表示方法 42
トップページ 42
表示言語を変更する 43
機器情報を確認する 43
機器の状態を確認する 43
カウンター情報を確認する 44
システム情報を確認する 45
用紙設定を変更する 46
ネットワークの設定をする 48
ネットワーク設定をする 48
印刷プロトコルを設定する 49
DNS の設定をする 50
アラートメッセージの設定をする 51
SNMP の設定をする 52
SMTP の設定をする 53
レポートを印刷する 54
管理者設定をする 55
管理者パスワードを設定する 55
本機の設定を初期化する 55
本機の設定をバックアップする 56
本機の設定を復元する 57
ヘルプを設定する 58
Web Image Monitor のヘルプを表示する 59

Smart Organizing Monitor を使う 60
Smart Organizing Monitor のインストール 61
Smart Organizing Monitor ダイアログを表示する 61
本機の状態を表示する 62
プリンター情報を表示する 63
プリンター状態の表示 63
ジョブ履歴を表示する 64
本機の設定内容を印刷する 65
プリンター設定ダイアログについて 66
メニューとモードについて 66
用紙設定を変更する 67
印刷位置を調整する 68
基本的な機能の設定をする 68
ネットワーク関連の変更をする 68
機器の状態をメールで通知する 69
メールの認証について 70
SNMP 71
システム設定リストの見かた 72

4. 付録

CD-ROM 収録ソフトウェア 75
ファイル一覧 75
プリンタードライバー 75
格納場所と動作環境について 75
Smart Organizing Monitor 76
各種マニュアル 76
HTML 形式の使用説明書 76
PDF 形式の使用説明書 76
プリントサーバーを使用する 77
Windows からのファイル直接印刷 78
セットアップ 78
印刷方法 78
lpr 79
ftp 79
ネットワークで運用する場合の注意事項 80
DHCP を使用する 80
AutoNet 機能を使用する 80
Windows ターミナルサービス／ Citrix Presentation Server ／
Citrix Xen App を使用する場合 81
索引 82

使用説明書について

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）が用意されています。
画面で見る使用説明書は付属の CD-ROM に収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、『ハードウェアガイド』「使用説明書の使いかた」を参照してください。
本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。
紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じです。

♦ **はじめにお読みください（）**
本製品についてのお問い合わせ先、注意事項を記載しています。また、HTML マニュアルについても説明しています。

♦ **安全上のご注意（）**
本機を安全にお使いいただくための注意事項を説明します。故障やけがを防ぐため、本機のご利用前に必ずお読みください。

♦ **かんたんセットアップ（）**
本機を箱から取り出し、基本操作が行えるまでの手順を説明しています。

♦ **クイックガイド（）**
困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

♦ **ハードウェアガイド（）**
オプションの接続方法や用紙に関する情報、消耗品の交換手順、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

♦ **ソフトウェアガイド（本書）（）**
プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

補足

- HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧になれます。
- PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。

使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル	画面で見る使用説明書 HTML 形式のマニュアル	画面で見る使用説明書 PDF 形式のマニュアル
はじめにお読みください	なし	有り（）	なし
安全上のご注意	有り（）	なし	有り（）
かんたんセットアップ	有り（）	なし	有り（）
クイックガイド	有り（）	なし	有り（）
ハードウェアガイド	なし	有り（）	有り（）
ソフトウェアガイド	なし	有り（）	有り（）

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]
キーとボタンの名称を示します。

『 』
本書以外の分冊名称を示します。

1. 印刷するための準備

この章では、本機に同梱されているCD-ROMからドライバーやソフトウェアをインストールする手順などについて説明します。

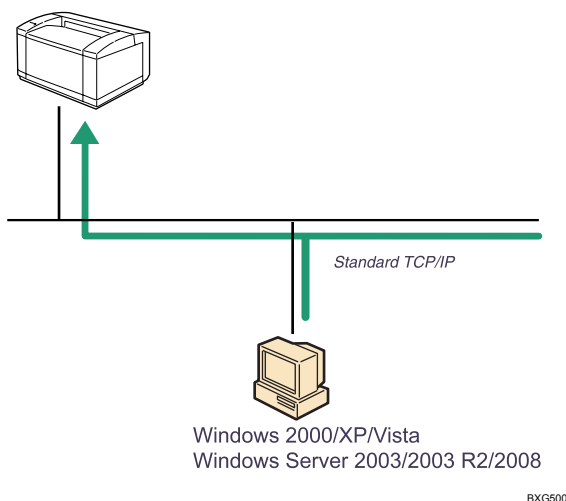
接続方法を確認する

本機は、ネットワーク接続またはローカル接続できます。
プリンタードライバーをインストールする前に、本機をネットワークまたはローカルのどちらの環境で接続したかを確認し、それぞれのインストール方法に従って、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続では、Windowsの印刷ポートを使用してプリンターへのダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）やサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windowsの印刷ポートを使用する

使用可能なインターフェースはイーサネットです。
本機をWindowsの印刷ポートとして使用するときのドライバーのインストール方法については、「ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

♦ 対応するOS

Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008

◆ **接続方法**

イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX）

◆ **使用できるポート**

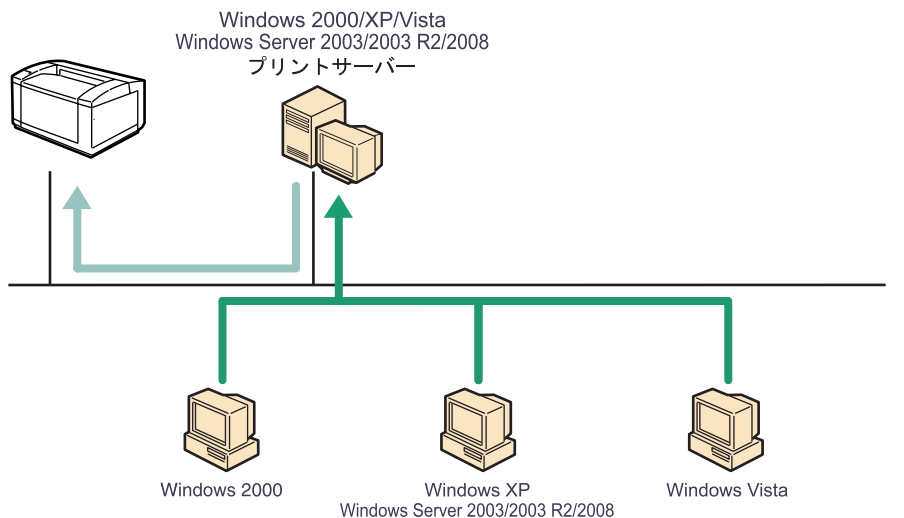
Standard TCP/IP ポート

1

参照

・P.10 「ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする」

プリントサーバーを使用する

本機は Windows ネットワークプリンターとして使用できます。
本機を Windows ネットワークプリンターとして使用するときのインストール方法については、「Windows ネットワークプリンターを使う」を参照してください。

参照

・P.17 「Windows ネットワークプリンターを使う」

ローカル接続

ローカル接続は、USB ケーブルを使用します。
本機を USB 接続で使用するときのドライバーのインストール方法については、「USB 接続でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

参照

・P.19 「USB 接続でプリンタードライバーをインストールする」

プリンタードライバーについて

プリンタードライバーを付属の CD-ROM からインストールしてください。サポートされるプリンタードライバーやソフトウェアの対応 OS のバージョンは以下のとおりです。

♦ プリンタードライバー

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008

♦ Smart Organizing Monitor

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008

補足

- 64 ビット Windows 用のプリンタドライバーは、付属の CD-ROM では対応しておりません。リコーのホームページからダウンロードしてください。
  （http://www.ricoh.co.jp/download/index.html）
- ダウンロードできるプリンタードライバーの OS 別対応状況については、リコーのホームページで確認できます。（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/）

ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする

ネットワーク環境で本機を使用するときの、プリンタードライバーのインストール方法を説明します。

プリンタードライバーのインストール

以下の手順にそってプリンタードライバーのインストールを行います。

1) テストページを印刷する
2) Smart Organizing Monitor をインストールする
3) 本機の IP アドレスを手動で設定する
4) プリンタードライバーをインストールする

補足

- DHCP サーバーから自動的に割り当てられた IP アドレスを使用する場合や、本機の IP アドレスが既に設定されている場合は、「4) プリンタードライバーをインストールする」に進んでください。

参照

- P.14 「プリンタードライバーをインストールする」

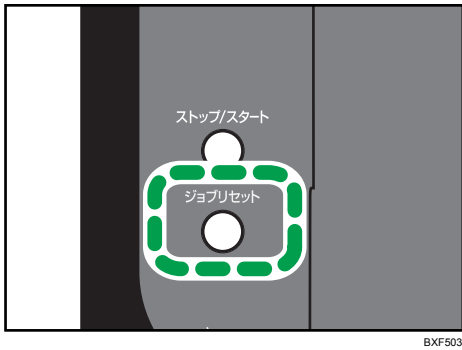
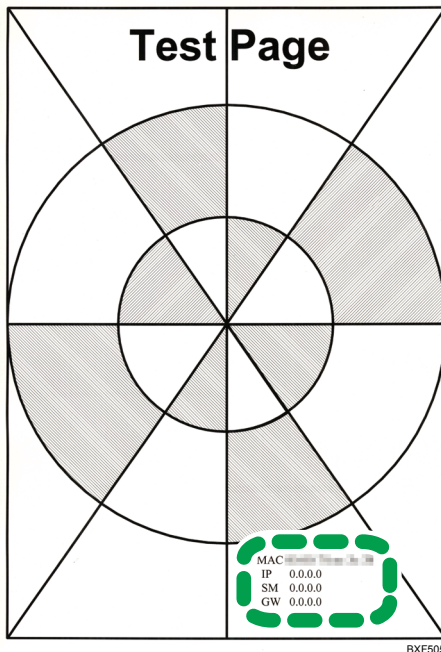
テストページを印刷する

本機の IP アドレスを手動で設定する場合は、本機の MAC アドレスが必要です。
テストページを印刷して本機の MAC アドレスを確認してください。

重要

- DHCP サーバーから自動的に割り当てられた IP アドレスを使用する場合や、本機の IP アドレスが既に設定されている場合は、この手順は不要です。P.14「プリンタードライバーをインストールする」に進んでください。
- テストページを印刷する前に、ネットワークケーブルによって本機がネットワークに接続されていることを確認してください。

1 電源スイッチを「○ Off」にします。

2 操作部の［ジョブリセット］キーを押しながら、電源スイッチを「I On」側にし、赤色のアラームランプが点滅したら、［ジョブリセット］キーを離します。

3 テストページが出力されます。

右下に MAC アドレスや IP アドレスなど、機器の情報が印刷されます。

補足

- テストページ出力には約 30 秒かかります。
- テストページで IP アドレスが「0.0.0.0」や「169.254.xxx.xxx」と印刷された場合は、IP アドレスの設定が必要です。P.12 「Smart Organizing Monitor をインストールする」に進んでください。
- テストページで IP アドレスが「0.0.0.0」や「169.254.xxx.xxx」以外で印刷された場合は、DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てられたか、既に手動で設定されています。この場合、IP アドレスの変更には Web Image Monitor を使用してください。Web Image Monitor にアクセスするには、テストページに印刷された IP アドレスを使用します。Web Image Monitor について詳しくは、P.41「Web Image Monitor を使う」を参照してください。

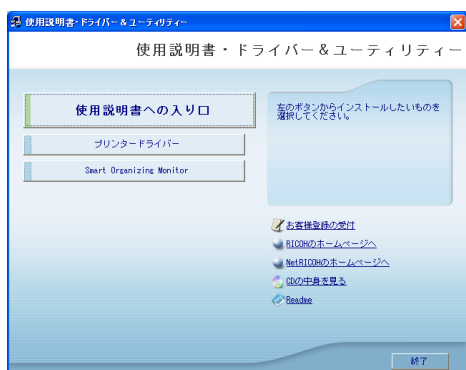
Smart Organizing Monitor をインストールする

本機の IP アドレスを指定するためには、Smart Organizing Monitor が必要です。
プリンタードライバーをインストールする前に、Smart Organizing Monitor をインストールしてください。

1

★重要

- DHCP サーバーから自動的に割り当てられた IP アドレスを使用する場合や、本機の IP アドレスが既に設定されている場合は、この手順は不要です。P.14「プリンタードライバーをインストールする」に進んでください。

1 **すべてのアプリケーションを終了します。**

2 **本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

インストーラーが起動します。

OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

3 **［Smart Organizing Monitor］をクリックします。**

4 **インストールで使用する言語を選択し、［次へ］をクリックします。**

Smart Organizing Monitor セットアップ画面が表示されます。

5 **［次へ］をクリックします。**

6 **ソフトウェア使用許諾契約書のすべての項目を読み、同意する場合は［はい］をクリックします。**

保存先フォルダの選択画面が表示されます。

7 **保存先を指定し、［次へ］をクリックします。**

プログラムフォルダの選択画面が表示されます。

8 **プログラムフォルダを指定し、［次へ］をクリックします。**

インストールを開始します。終了すると、完了画面が表示されます

9 **［完了］をクリックします。**

補足

- Windows Vista では、CD-ROM をセットしたときに、セキュリティー設定のため、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されることがあります。この場合、[許可] をクリックします。

本機の IP アドレスを手動で設定する

テストページに印刷された本機の MAC アドレスを使用して、Smart Organizing Monitor で本機の IP アドレスを設定します。
IP アドレスの設定を行うときは、セットアップを行うパソコンとプリンターは同一セグメント内に設置して設定してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合せください。

重要

- DHCP サーバーから自動的に割り当てられた IP アドレスを使用する場合や、本機の IP アドレスが既に設定されている場合は、この手順は不要です。P.14「プリンタードライバーをインストールする」に進んでください。
- 操作の前に、ネットワークケーブルによって本機がネットワークに接続されていることを確認してください。
- DHCP サーバーから自動的に割り当てられた IP アドレスを変更する場合は、Web Image Monitor で IP アドレスを変更してください。Web Image Monitor にアクセスするときの IP アドレスは、テストページに印刷された IP アドレスを使用してください。Web Image Monitor について詳しくは、P.41 「Web Image Monitor を使う」を参照してください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] で [Smart Organizing Monitor for SP 3400 シリーズ] > [Smart Organizing Monitor for SP 3400 シリーズのステータス] を選択します。

Smart Organizing Monitor が起動します。
Windows Vista の場合は、管理者で起動してください。

2 [初期設定] タブをクリックし、[IP アドレス] をクリックします。

IP アドレス入力ダイアログが表示されます。

3 [物理アドレス] に本機の MAC アドレス（物理アドレス）を入力し、[IP アドレス] に適切な IP アドレスを入力します。

サブネットマスクとゲートウェイアドレスは、必要に応じて入力してください。

4 [OK] をクリックします。

5 [OK] をクリックします。

6 [閉じる] をクリックし、Smart Organizing Monitor を終了します。

7 本機の電源を切り、テストページを再度印刷して、設定した IP アドレスが印刷されるか確認します。

補足

- Smart Organizing Monitor について詳しくは、「Smart Organizing Monitor を使う」を参照してください。
- テストページの印刷について詳しくは、「テストページを印刷する」を参照してください。

参照

- P.10 「テストページを印刷する」
- P.60 「Smart Organizing Monitor を使う」

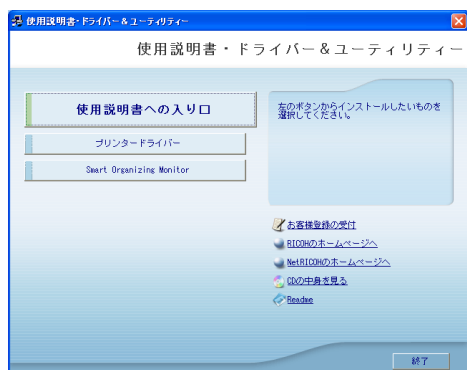
プリンタードライバーをインストールする

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読み、同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。

[セットアップ方法] ダイアログが表示されます。

5 **［新しいプリンターを追加する］をクリックし、［ネットワークからプリンターを検索する］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックします。**

プリンターの検索を開始します。
プリンターの検索に失敗した場合、プリンタードライバーは LPT1 ポート経由でインストールされます。
この場合、インストールが完了してからポートの設定を変更してください。

6 **検索されたプリンター一覧から、本機を選択し、[次へ] をクリックします。**

［プリンタードライバーの導入］ダイアログが表示されます。

7 **必要に応じて、［プリンター名］をダブルクリックし、本機の設定を展開して設定します。**

8 **［完了］をクリックします。**

［完了］をクリックすると、［デジタル署名がみつかりませんでした］という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。
再起動ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するかを選択し、［完了］をクリックします。

補足

- 手順 **5** でネットワークプリンターの検索に失敗した場合は、［ポート］タブで Standard TCP/IP ポートを再設定してください。詳しくは「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」を参照してください。
- インストールの途中で［キャンセル］をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
- ネットワークケーブルの接続方法については、『ハードウェアガイド』を参照してください。

参照

- P.16 「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」
- P.22 「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」

ネットワークプリンターの検索に失敗した場合

プリンタードライバーのインストール中に、ネットワークプリンターの検索に失敗した場合の設定方法を説明します。

ネットワークプリンターの検索に失敗した場合、本機の IP アドレスが正しく設定されていません。本機の IP アドレスを再設定してから、ポートの設定を変更します。

1

♦ 本機の IP アドレスを再設定する

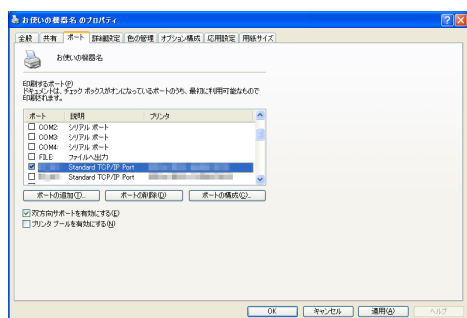
IP アドレスの再設定方法については、P.13 「本機の IP アドレスを手動で設定する」を参照してください。

♦ ポートの設定を変更する

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。

2 本機のアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

本機のプロパティが表示されます。

3 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

4 ［Standard TCP/IP Port］をクリックし、［新しいポート］をクリックします。

標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されます。

5 ［次へ］をクリックします。

6 再設定した本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

7 ［完了］をクリックします。

Windows ネットワークプリンターを使う

Windows ネットワークプリンターとして、本機を使用する場合のプリンタードライバーのインストール方法を説明します。
ここでは、Windows XP での使用方法を例に説明します。
Windows ネットワークプリンターの設定方法の詳細は、Windows のヘルプを参照してください。

重要

・下記の設定を行うには、事前に本機をネットワークプリンターに設定しておく必要があります。ネットワークプリンターの設定方法については、「プリントサーバーを使用する」を参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［プリンタのインストール］をクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

4 ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックします。

5 ［指定したプリンタに接続する］を選択し、［次へ］をクリックします。

6 共有プリンタの一覧から本機を選択し、［次へ］をクリックします。

7 本機を通常使用するプリンターに設定するかどうか選択し、［次へ］をクリックします。

8 ［完了］をクリックします。

参照

・P.77 「プリントサーバーを使用する」

ネットワーク接続がうまくいかないとき

ここでは、ネットワーク接続に関連する問題の考えられる原因および対処方法を説明します。

原因	対処方法
電源コードまたはネットワークケーブルが正しく接続されていない可能性があります。	電源コードおよびネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また、破損していないことも確認してください。
本機の IP アドレスが指定されていない、または本機とパソコンが同じネットワーク上にありません。	ネットワーク上で本機が見つからない場合、本機に IP アドレスが指定されていないか、パソコンと本機が同じネットワーク上にありません。この場合、本機の IP アドレスとネットワークの構成を確認してください。

USB 接続でプリンタードライバーをインストールする

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、ドライバーをインストールする方法について説明します。

セットアップを始める前に、USB ケーブルを接続するパソコンが他のプリンターで印刷を行っていない状態であることを確認してください。

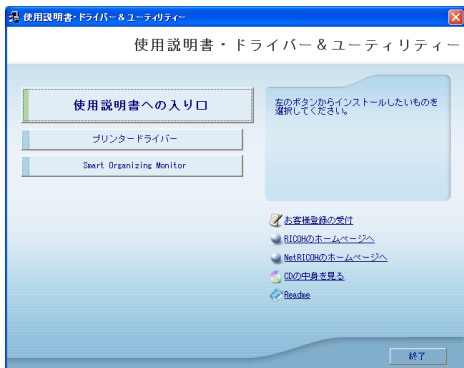
重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーでログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機の電源が切れていることを確認します。

3 本機に付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

Windows Vista の場合、セキュリティー設定によっては、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されることがあります。この場合、[許可] をクリックします。

4 [プリンタードライバー] をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

5 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読み、同意する場合は、[同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。

6 [セットアップ方法] ダイアログで、[新しいプリンターを追加する] を選択し、[USB を使用してプリンターを接続する] にチェックマークを付けて、[次へ] をクリックします。

7 本機の電源が切れていること、USB ケーブルが機器と接続されていないことを確認し、[次へ] をクリックします。

1

8 ［接続先（USB ポート）の自動認識］ダイアログが表示されたら、本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

USB ケーブルをはじめて使用した場合、お使いの OS によって［新しいハードウェアの検出］や［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。この場合は［キャンセル］をクリックします。

9 インストール完了のメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

再起動ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するかを選択し、［完了］をクリックします。

補足

- インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷するポート］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- プリンターの接続に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。USB ケーブルが正しく接続され、本機の電源が入っていることを確認して［再試行］をクリックします。
- USB 自動認識の使用を中止する場合は、［自動認識中止］をクリックします。
- ご使用の機器のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合、「USB」ポートに接続したプリンターのアイコンが［プリンタ］ウィンドウに追加されます。

USB 接続がうまくいかないとき

USB 接続でのインストールができないときの対処方法を説明します。

状態	対処方法
本機が自動認識されない。	本機の電源を［O Off］にして、電源ケーブルや USB ケーブルが緩んでいないかを確認して再接続し、電源を［I On］にしてください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	Windows のデバイスマネージャーを開き、不正なデバイスを［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］から削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の［!］がついたり、黄色の［?］になっています。誤って必要なデバイスを削除しないようにしてください。
プリンタードライバーが正しくインストールされない。	本機の電源を切ってから USB ケーブルを抜いてください。そのあと、［USB おすすめインストール］をやり直します。本機の電源は、指示があったときに入れてください。
ソフトウェアのインストール中にエラーが起きる。	まず Windows を再起動してください。そのあと［スタート］メニューで［コントロールパネル］を選択してください。システムのアイコンをダブルクリックし、次に［ハードウェア］タブで［デバイスマネージャ］をクリックしてください。［その他のデバイス］で本機を選択し、プロパティダイアログを開いてください。［全般］タブで［ドライバー再インストール］をクリックして、ドライバーを再インストールしてください。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

1

プリンタードライバーのインストール中に（58）のメッセージ、または（34）のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。［プリンタの追加］または［プリンタのインストール］でインストールし直してください。

Windows 2000 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
3. ［プリンタの追加ウィザード］に従ってインストールします。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。
2. ［プリンタのインストール］をクリック、または［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
3. ［プリンタの追加ウィザード］に従ってインストールします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」のカテゴリーの中から、［プリンタ］をクリックします。
3. ［プリンタのインストール］をクリックします。
4. ［プリンタの追加ウィザード］に従ってインストールします。

オプション構成や用紙の設定

本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をプリンタードライバーに設定します。

1

重要

- プリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。
- プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブにある［双方向サポートを有効にする］のチェックマークを外さないでください。［双方向サポートを有効にする］のチェックマークを外すと、Smart Organizing Monitor が使用できなくなります。双方向通信を有効にしてお使いください。双方向通信が可能な条件の詳細については、P.24 「双方向通信が可能な条件」を参照してください。

ここでは Windows XP を例に説明します。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。

［プリンタと FAX］ウィンドウが表示されます。

2 使用するプリンターアイコンをクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

4 ［オプション構成］タブをクリックし、［今すぐ更新］をクリックします。

双方向通信が働いていない場合は、手動で装着されているオプションを選択してください。

5 ［用紙サイズ］タブをクリックし、［今すぐ更新］をクリックします。

双方向通信が働いていない場合は、手動で使用するトレイと用紙サイズを選択し、［更新］をクリックしてください。

6 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

双方向通信が可能な条件

双方向通信が働いていると、パソコン側から本機にセットされている用紙サイズなどの情報を取得できます。また、本機の状態も確認できます。

双方向通信を利用するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

◆ ネットワーク接続の場合

- 本機が TCP/IP 標準ポートでネットワークに接続されており、ポートのデフォルト名が変わっていない。
- プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブで、「双方向サポートを有効にする」にチェックマークを付けている。

◆ ローカル接続の場合

- 本機の USB インターフェースコネクターとパソコンの USB コネクターが、USB ケーブルで接続されている。
- プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブで、「双方向サポートを有効にする」にチェックマークを付けている。

2. 印刷する

この章ではプリンタードライバーの設定方法や、本機の基本的な使いかたについて説明します。

プリンタードライバー画面と設定方法

Windows 2000 の場合

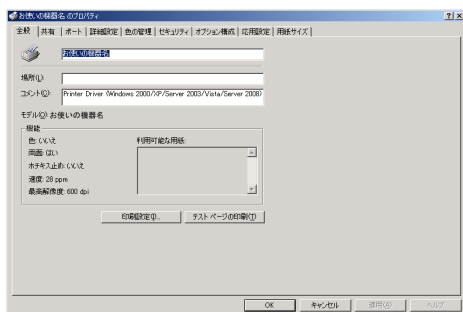
Windows 2000 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows 2000 で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタ］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- 本機のプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。
- 本機のプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウから本機のプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows 2000 が追加するタブで、Windows 2000 の機能に関する設定を行います。
［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブは本機に関する設定を行うタブです。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

本機のプロパティが表示されます。

補足

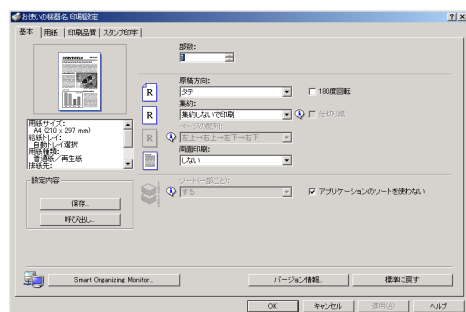
- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 2000 で［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示する

［プリンタ］ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブが表示されます。

［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

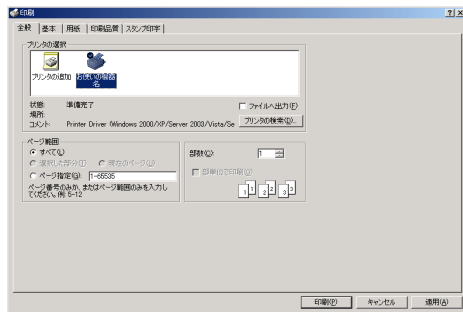
2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。**

印刷設定が表示されます。

補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows 2000 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。
アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[全般]、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブが表示されます。

[全般]、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブには [プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。
印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、本機のプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows 2000 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。
印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、本機のプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 本機を選択し、右クリックして [プロパティ] をクリックします。

本機のプロパティが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の手順はアプリケーションによって異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

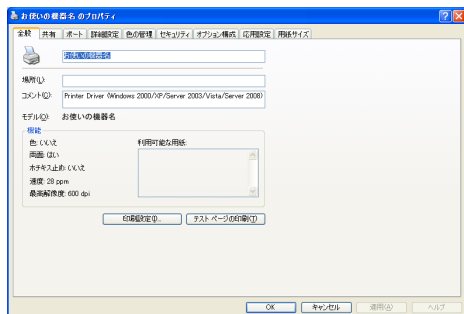
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で［プリンタと FAX］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタと FAX］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

重要

- 本機のプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。
- 本機のプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタと FAX］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 が追加するタブで、Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の機能に関する設定を行います。
［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブは本機に関する設定を行うタブです。

1. **タスクバーの［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
   本機のプロパティが表示されます。

補足

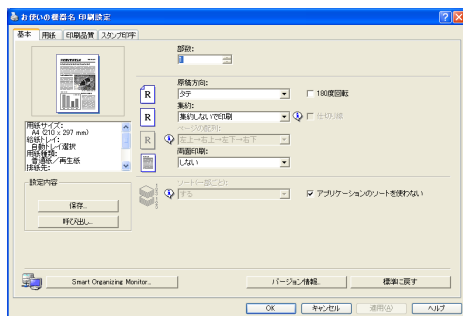
- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で［プリンタと FAX］ウィンドウから印刷設定を表示する

［プリンタと FAX］ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

重要

- 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタと FAX］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブが表示されます。

これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 **タスクバーの［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［印刷設定］をクリックします。**

印刷設定が表示されます。

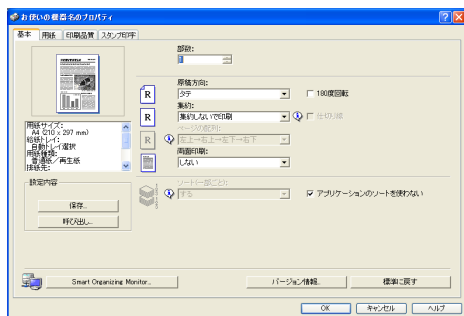
補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

2

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。
アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブが表示されます。

2

これらのタブには［プリンタと FAX］ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。
印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、本機のプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows XP に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

2 **本機を選択し、[詳細設定］をクリックします。**
［印刷設定］ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの［印刷設定］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

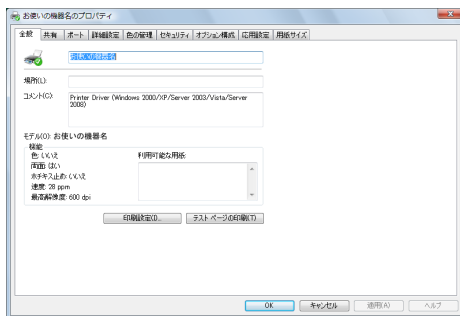
Windows Vista、Windows Server 2008 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows Vista、Windows Server 2008 で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタ］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- 本機のプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、管理者権限を持つアカウントでログオンするか、一時的に管理者として実行してください。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。
- 本機のプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウから本機のプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows Vista、Windows Server 2008 が追加するタブで、Windows Vista、Windows Server 2008 の機能に関する設定を行います。

［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブは本機に関する設定を行うタブです。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［ハードウェアとサウンド］カテゴリーの中から、［プリンタ］をクリックします。

3 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されるメニューで［プロパティ］をクリックします。

本機のプロパティが表示されます。

補足

・ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

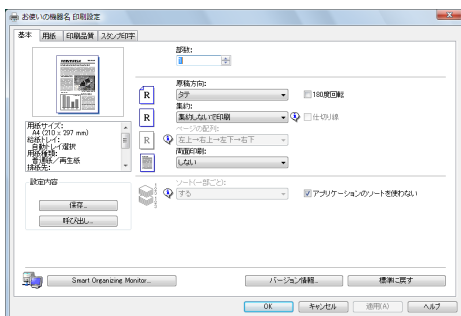
Windows Vista、Windows Server 2008 で［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示する

2

［プリンタ］ウィンドウのドキュメントの既定値から、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

・印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブが表示されます。

これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［ハードウェアとサウンド］カテゴリーの中から、［プリンタ］をクリックします。

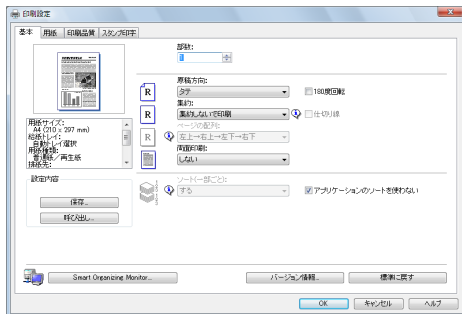
3 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されるメニューで［印刷設定］をクリックします。

印刷設定が表示されます。

補足

・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows Vista、Windows Server 2008 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。
アプリケーションから本機のプロパティを表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブが表示されます。

[プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。
印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、本機のプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows Vista に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 **[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。**

2 **本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。**

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの [印刷設定] ダイアログから表示したプロパティは、標準ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

本機の基本的な使いかた

基本的な印刷方法について説明します。

1 **アプリケーションから本機のプロパティを開きます。**

2 **必要に応じてオプションの設定をし、［OK］をクリックします。**

トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが合うように設定してください。

補足

- 優先して給紙するトレイは、Web Image Monitor および Smart Organizing Monitor で選択できます。
- 紙づまりが起きたときは、印刷中のページが排紙された後に印刷が停止します。紙づまりが解消されると、つまったページから印刷が再開されます。
- 封筒に印刷した場合は、印刷の後に封筒印刷用のレバーを元の位置に戻してください。レバーを下げたまま他の用紙を印刷すると、きれいに印刷できない場合があります。
- 本機のプロパティの表示方法について詳しくは、「プリンタードライバー画面と設定方法」を参照してください。
- 紙づまりを取り除く方法について詳しくは、『ハードウェアガイド』「紙づまりの対処」を参照してください。
- 封筒印刷用のレバーについて詳しくは、『ハードウェアガイド』「封筒をセットする」を参照してください。

参照

- P.25 「プリンタードライバー画面と設定方法」

用紙エラーが発生したとき

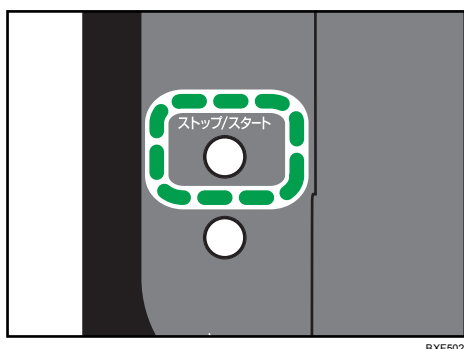
用紙のサイズや種類が印刷データと合っていないときはエラーが発生します。このエラーを解除するには、次の３つの方法があります。

◆ **強制印刷をする**
エラーを無視し、トレイにセットされている用紙に印刷します。

◆ **用紙設定を変更して印刷する**
本機の用紙設定を変更してから印刷します。

◆ **プリントジョブをリセットする**
印刷を中止します。

強制印刷をする

1 **Smart Organizing Monitorにエラーメッセージが表示されたら、[ストップ/スタート］キーを押します。**

印刷が実行されます。

補足

- 用紙を追加して印刷したい場合は、トレイに用紙をセットしてから、［ストップ / スタート］キーを押してください。
- 印刷データに対して用紙が小さいと、画像の端が切れて出力される場合があります。

用紙設定を変更して印刷する

重要

- 用紙サイズや用紙種類のエラーが発生したとき、Smart Organizing Monitor で給紙トレイの用紙設定を変更することができません。Web Image Monitor で用紙設定を変更するか、強制印刷またはジョブリセットしてください。

2

◆ Web Image Monitor での用紙設定

1 Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

2 左フレーム内のメニューで［用紙設定］をクリックします。

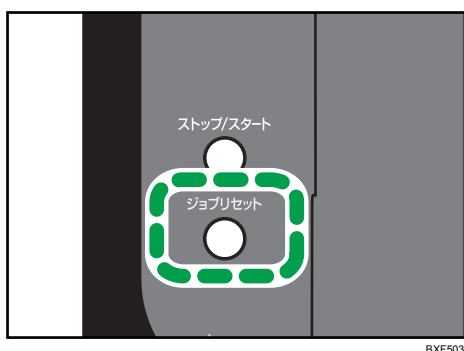
3 ［用紙サイズ］のプルダウンメニューから使用する用紙サイズを選択します。

4 ［用紙種類］のプルダウンメニューから使用する用紙種類を選択します。

5 必要に応じて、管理者パスワードを入力します。

6 ［OK］をクリックします。

プリントジョブをリセットする

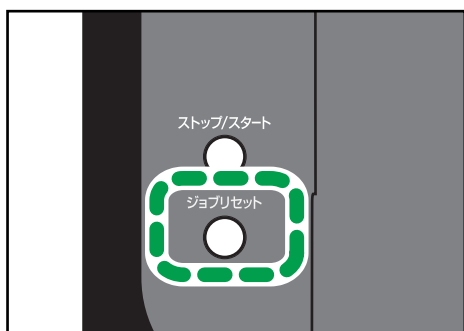
1 ［ジョブリセット］キーを押します。

印刷が中止されます。

印刷開始前にジョブを中止する

印刷を中止したいデータが、まだ印刷されていない場合の操作方法です。

操作部を使って印刷を中止する

印刷が完了していないデータは、操作部から印刷を中止できます。

1 **［ジョブリセット］キーを押します。**

パソコンから印刷を中止する

印刷が完了していないデータは、パソコンから印刷を中止できます。

1 **Windows のタスクトレイにある本機のアイコンをダブルクリックします。**

待機中の印刷ジョブ一覧画面が表示されます。印刷を中止するジョブを確認します。

2 **印刷を中止するジョブをクリックして反転表示させます。**

3 **［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。**

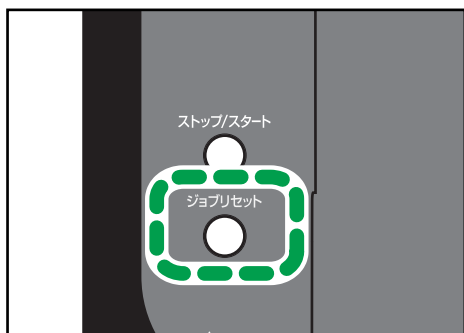
印刷が中止されます。

補足

- ［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。［すべてのドキュメントの取り消し］を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- 印刷の中止を選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

印刷中にジョブを中止する

印刷中の場合は、操作部から印刷を中止してください。

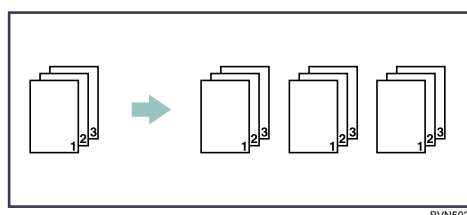
1 操作部の［ジョブリセット］キーを押します。

いろいろな印刷

ソート、表紙、スタンプ印字の注意事項について説明します。

ソートについて

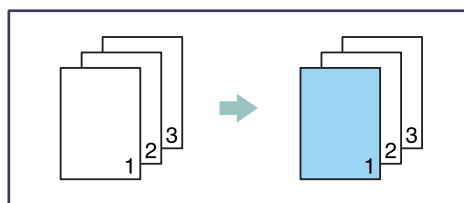
会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。この機能を「ソート」といいます。

♦ **ソート**

下の図のように一部ずつそろえて印刷します。

補足

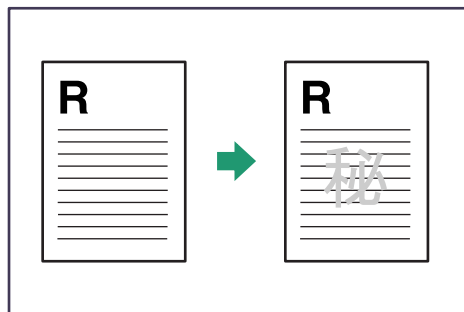
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

表紙について

表紙用の用紙印刷について説明します。最初のページのみ違う用紙種類・給紙トレイを使って印刷できます。

補足

- 表紙用の用紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スタンプ印字について

スタンプ印字について説明します。作成した文章に文字を重ねてあるいは背景として印刷できます。

補足

- 印字のサイズが用紙サイズよりも大きい場合、正しくスタンプが印刷されません。
- 設定方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. 機器の監視

Web Image Monitor から直接本機にアクセスし、本機の状態を確認したり、設定を変更したりできます。

Web Image Monitor を使う

♦ Web Image Monitor で設定できる項目

ネットワークを介したパソコンの Web Image Monitor 上から以下の遠隔操作ができます。

- ・本機の状態 / 設定を表示する
- ・用紙設定をする
- ・レポートを印刷する
- ・ネットワークに関する設定をする
- ・各種設定の変更に必要なパスワードを設定する
- ・初期設定値を回復する
- ・各種設定のバックアップファイルを作成する
- ・バックアップファイルから各種設定を回復する

♦ 推奨ブラウザー

- ・Internet Explorer 5.0 以降

補足

- ・使用するブラウザーのバージョンが推奨ブラウザーより低い場合や、使用するブラウザーの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- ・プロキシサーバーをご使用の場合、必要に応じて Web ブラウザーの設定をしてください。設定について詳しくは、ネットワーク管理者に連絡してください。
- ・ブラウザーの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときは、ブラウザーの［更新］、または［再読み込み］をクリックしてください。
- ・Web ブラウザーに表示される情報は、自動更新されません。メイン画面の右上の［更新］ボタンをクリックしてください。

トップページを表示する

Web Image Monitor のトップページの表示方法を説明します。

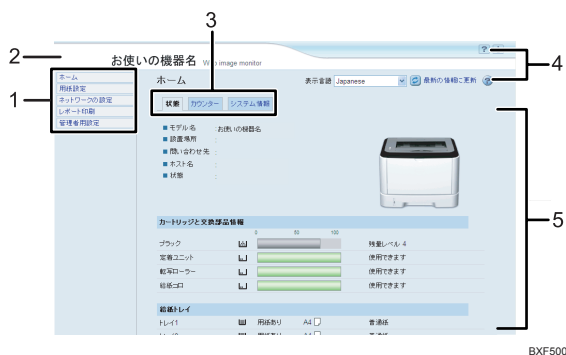
トップページの表示方法

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。
DNS サーバーを使用し、本機のホスト名が登録されている場合、ホスト名を入力できます。

トップページ

Web Image Monitor のページはフレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

1 メニューエリア
メニュー項目を選択すると、その内容をメインエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

2 ヘッダーエリア
お使いの機器名やヘルプが表示されます。

3 タブエリア
［状態］タブと［カウンター］タブ、［システム情報］タブの３つのタブがあります。それぞれのタブをクリックすると、本機の状態とカウンター情報が表示されます。

4 ヘルプ
ヘルプファイルを閲覧します。

5 メインエリア
メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。
メインエリアの情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の［最新の情報に更新］をクリックしてください。なお、Web ブラウザー画面全体を更新したい場合は、ブラウザーの［最新の情報に更新］をクリックしてください。

表示言語を変更する

使用したい表示言語を［表示言語］ボックスから選択してください。

機器情報を確認する

［ホーム］をクリックして、Web Image Monitor のトップページを表示します。トップページでは、現在の機器情報を確認できます。
このページには、以下の 3 つのタブがあります：[状態]、[カウンター]、[システム情報]。

機器の状態を確認する

トップページの［状態］タブをクリックして、システム情報、給紙トレイの状況、およびトナーの残量を表示します。

項目	説明
モデル名	本機の名前を表示します。
設置場所	［SNMP］ページで登録した本機の設置場所を表示します。
問い合わせ先	［SNMP］ページで登録した本機の問い合わせ先を表示します。
ホスト名	［DNS］ページで登録したホスト名を表示します。
状態	本機の状態を表示します。

カートリッジと交換部品情報

項目	説明
ブラック	ブラックのトナー残量を表示します。
定着ユニット	定着ユニットの交換までの目安を表示します。
転写ローラー	転写ローラーの交換までの目安を表示します。
給紙コロ	給紙コロの交換までの目安を表示します。

給紙トレイ

項目	説明
トレイ 1	トレイ 1 の状態、用紙サイズと種類を表示します。
トレイ 2	トレイ 2 の状態、用紙サイズと種類を表示します。
手差しトレイ	手差しトレイの状態、用紙サイズと種類を表示します。

補足

- 増設トレイが装着されている場合のみトレイ 2 の情報が表示されます。
- 純正品以外のトナーカートリッジを使うと、正確なトナーの残量が表示されません。

3

参照

- ［設置場所］、［問い合わせ先］について詳しくは、P.52 「SNMP の設定をする」を参照してください。

カウンター情報を確認する

トップページの［カウンター］タブをクリックして、カウンター情報を確認します。

出力カウンター

項目	説明
トータルページ	プリンタードライバーを使って印刷されたページ、［レポート印刷］から印刷されたページの総数を表示します。

両面

項目	説明
両面カウンター	両面印刷された用紙の枚数を表示します。

システム情報を確認する

トップページの［システム情報］タブをクリックして、機器の情報を確認します。

3

システム情報

項目	説明
ファームウェアバージョン	本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
エンジンファームウェアバージョン	本機エンジンのファームウェアのバージョンを表示します。
機番	本機のシリアルナンバーを表示します。
トータルメモリー	本機に搭載されているメモリーの総容量を表示します。

用紙設定を変更する

［用紙設定］をクリックして、用紙設定のページを表示します。

トレイ 1

項目	説明
用紙サイズ	トレイ 1 の用紙サイズを、次の中から選びます： A4、B5、A5、B6、A6、8 $^{1}/_{2}$ × 14、8 $^{1}/_{2}$ × 11、5$^{1}/_{2}$ × 8$^{1}/_{2}$、7 $^{1}/_{4}$ × 10 $^{1}/_{2}$、8 × 13、8 $^{1}/_{2}$ × 13、8 $^{1}/_{4}$ × 13、郵便ハガキ、往復ハガキ、不定形 ［不定形］を選択した場合、ヨコ 100 mm～216 mm、タテ 148mm～356 mm の範囲で設定できます。
用紙種類	トレイ 1 の用紙の種類を、次の中から選びます： 薄紙、厚紙 1（100～130 g/m^2)、厚紙 2（131～162 g/m^2)、普通紙、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド、ボンド紙、カードストック、ラベル紙

トレイ 2

項目	説明
用紙サイズ	トレイ 2 の用紙サイズを、次の中から選びます： A4、B5、A5、8 $^{1}/_{2}$ × 14、8 $^{1}/_{2}$ × 11、5 $^{1}/_{2}$ × 8 $^{1}/_{2}$
用紙種類	トレイ 2 の用紙の種類を、次の中から選びます： 薄紙、厚紙 1（100～130 g/m^2)、普通紙、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド

手差しトレイ

項目	説明
用紙サイズ	手差しトレイの用紙サイズを、次の中から選びます： A4、B5、A5、B6、A6、8 $^1/_2$ × 14、8 $^1/_2$ × 11、5$^1/_2$ × 8 $^1/_2$、7 $^1/_4$ × 10 $^1/_2$、郵便ハガキ、往復ハガキ、不定形 ［不定形］を選択した場合、ヨコ 90 mm〜216 mm、タテ 140 mm〜356 mm の範囲で設定できます。
用紙種類	手差しトレイの用紙の種類を、次の中から選びます： 薄紙、厚紙 1（100〜130 g/m^2)、厚紙 2（131〜162 g/m^2)、普通紙、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド、ボンド紙、カードストック、ラベル紙、封筒、OHP

優先トレイ

項目	説明
優先トレイ	印刷データに一致する用紙が設定されたトレイが複数ある場合に優先的に使用するトレイを、次の中から選びます： トレイ 1、トレイ 2、手差しトレイ

補足

- 増設トレイが装着されている場合のみトレイ 2 の情報が表示されます。

ネットワークの設定をする

［ネットワークの設定］をクリックして、ネットワーク設定ページを表示します。
このページには、以下の 6 つのタブがあります：[ネットワーク設定]、[印刷プロトコル]、[DNS]、[アラートメッセージ]、[SNMP]、[SMTP]。

ネットワーク設定をする

ネットワークの設定ページの［ネットワーク設定］タブをクリックして、ネットワーク設定をするページを表示します。

3

ネットワーク情報

項目	説明
イーサネット速度	ネットワーク接続の種類および速度を表示します。
IPP プリンタ名	ネットワーク上で本機を識別するために使用する名前を表示します。
ネットワークインターフェースバージョン	ネットワークモジュールのバージョン（本機ファームウェアの一部）を表示します。
物理アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。

TCP/IP

項目	説明
DHCP	DHCP を使って、本機が IP アドレスを自動的に取得するかどうか選択します。DHCP を使用するには、［有効］を選んでください。有効にした場合、以下の項目は無効になります。
IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	ネットワークのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイアドレス	ネットワークのゲートウェイアドレスを設定します。

印刷プロトコルを設定する

ネットワークの設定ページの［印刷プロトコル］タブをクリックして、印刷プロトコルの設定をするページを表示します。

印刷プロトコル

項目	説明
IPP	インターネット印刷プロトコルを使ったTCP/IPネットワーク印刷を有効にします（TCP ポート 80/631 を使用します）。
FTP	本機内蔵の FTP プロトコルを使ったネットワーク印刷を有効にします（TCP ポート 20/21 を使用します）。
RAW	raw 印刷を有効にします。
ポート番号	raw 印刷に使用する TCP ポートの番号を入力します。有効なポート番号は 1024〜65535 で、49999 および、53550 は除きます（デフォルト：9100）。
LPR	LPR/LPD を使ったネットワーク印刷を有効にします（TCP ポート 515 を使用します）。

mDNS

項目	説明
mDNS	マルチキャスト DNS を有効にします。無効にした場合、以下の項目は設定できません。
プリンター名	本機の名前を入力します。最大 32 文字まで入力できます。

3

DNS の設定をする

ネットワークの設定ページの［DNS］タブをクリックして、DNS 設定をするページを表示します。

3

DNS 設定

項目	説明
DNS サーバー	手動でドメインサーバーを指定するか、ネットワークを通して自動的に DNS 情報を受け取るかを選択します。［自動的に取得(DHCP)］にした場合、［プライマリー DNS サーバー］、［セカンダリー DNS サーバー］、［ドメイン名］は設定できなくなります。
プライマリー DNS サーバー	主要 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
セカンダリー DNS サーバー	補助 DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
ドメイン名	本機のドメイン名を入力します。最大32文字まで入力できます。
DNS タイムアウト	DNS要求をタイムアウトにするまでの最大待ち時間を入力します（1〜999）。
ホスト名	本機のホスト名を入力します。最大 15 文字入力できます。

アラートメッセージの設定をする

ネットワークの設定ページの［アラートメッセージ］タブをクリックして、アラートメッセージの自動通知設定をするページを表示します。

通知メール 1/ 通知メール 2

項目	説明
表示名	自動通知メールの送信者名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
通知先メールアドレス	自動通知メールのあて先となるアドレスを入力します。最大 64 文字まで入力できます。

♦ アラートを通知するタイミングの設定

アラートメッセージを通知するタイミングは、該当するチェックボックスを選択して設定します。

項目	説明
用紙ミスフィード	紙づまりが発生したときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
トナー残りわずか	トナーが少なくなったときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
トナーなし	トナーが切れたときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
用紙なし	用紙が切れたたときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
サービスコール	本機故障などの問題が発生したときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。
カバーオープン	カバーが開いているときに、指定先のアドレスに自動通知メールを送信します。

3

SNMP の設定をする

ネットワークの設定ページの［SNMP］タブをクリックして、SNMP 設定をするページを表示します。

SNMP

項目	説明
SNMP	本機が SNMP サービスを使えるようにするかどうか選択します。［無効］にした場合、このページの他の項目は設定できなくなります。

Trap

項目	説明
Trap 送信	本機が管理ホスト (NMS) にトラップを送信できるようにするかどうか選択します。
マネージャアドレス 1	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
マネージャアドレス 2	IP アドレスか、管理ホストのホスト名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。

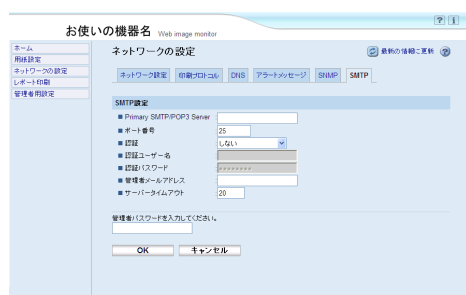
コミュニティー

項目	説明
GET コミュニティー名	GET 要求の認証に使用するコミュニティー名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。 Smart Organizing Monitor で本機を検索するには、「public」を使用してください。
Trap コミュニティー名	Trap 要求の認証に使用するコミュニティー名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。

システム

項目	説明
設置場所	本機の場所を入力します。ここで入力した場所は、トップページに表示されます。最大 64 文字まで入力できます。
問い合わせ先	連絡先の情報を入力します。ここで入力した連絡先の情報は、トップページに表示されます。最大 64 文字まで入力できます。

SMTP の設定をする

ネットワークの設定ページの［SMTP］タブをクリックして、SMTP 設定をするページを表示します。

SMTP 設定

項目	説明
Primary SMTP/POP3 Server	IP アドレスか、SMTP/POP3 サーバーの名前を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
ポート番号	SMTP のポート番号を入力します。（1～65535）
認証	認証方式を以下から選択してください。 ［しない］：ユーザー名およびパスワードは必要ありません。 ［SMTP認証］:本機はNTLMおよびLOGIN認証に対応しています。 ［POP before SMTP］：認証には POP3 サーバーを使用します。SMTP サーバーと同じサーバーが POP3 サーバーとして使用されます。
認証ユーザー名	SMTP サーバーにログインするユーザー名を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
認証パスワード	SMTP サーバーにログインするパスワードを入力します。最大 32 文字まで入力できます。
管理者メールアドレス	システム管理者のメールアドレスを入力します。このアドレスは、自動通知メールやスキャナーのメール送信通知など、本機から送信されるメールの送信者アドレスとして使用されます。最大 64 文字まで入力できます。
サーバータイムアウト	SMTP 操作をタイムアウトにするまでの待ち時間を入力します（1～999）。

3

レポートを印刷する

［レポート印刷］をクリックして、レポート印刷ページを表示します。項目を選択し、［印刷］をクリックしてその項目に関する情報を印刷します。

レポート印刷

項目	説明
システム設定リスト	本機のシステム構成や設定の内容を印刷します。
テストシート	テストページを印刷します。

補足

- 本機が印刷中の場合は、レポート印刷の操作を行ってもレポートは印刷されません。本機の印刷が終わってから、印刷してください。

管理者設定をする

［管理者用設定］をクリックして、管理者用設定ページを表示します。
このページには、以下の 5 つのタブがあります：［パスワード］、［デフォルト設定］、［バックアップ設定］、［リストア設定］、［ヘルプの参照先設定］。

管理者パスワードを設定する

管理者用設定ページの［パスワード］タブをクリックして、パスワード設定をするページを表示します。

管理者パスワード

項目	説明
新規パスワード	新しい管理者パスワードを入力します。半角英数字で最大 16 文字を入力できます。
新規パスワード（確認）	確認のため同じパスワードを入力してください。

本機の設定を初期化する

管理者用設定ページの［デフォルト設定］タブをクリックして、本機の設定を初期化するページを表示します。

デフォルト設定

項目	説明
ネットワークの設定を初期化する	ネットワーク設定が初期値に戻ります。
機器の設定を初期化する	ネットワーク設定以外の本機の設定が初期値に戻ります。

3

本機の設定をバックアップする

管理者用設定ページの［バックアップ設定］タブをクリックして、本機の設定のバックアップファイルを作成するページを表示します。必要であれば、このバックアップファイルを使って前回の設定を復元できます。

重要

- 本機を修理に出す場合には、必ず事前にバックアップファイルを作成してください。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。

バックアップ設定

項目	説明
ネットワークの設定のバックアップをとる	［ネットワーク設定］、［印刷プロトコル］、［DNS］、［アラートメッセージ］、［SNMP］、［SMTP］ページで行った設定と、Web Image Monitor の管理者パスワードのバックアップファイルを作成します。
メニューの設定のバックアップをとる	ネットワーク設定以外の設定のバックアップファイルを作成します。

■バックアップする

1. バックアップしたい項目を選択します。
2. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。
3. ［OK］をクリックします。
4. 確認画面で［保存］をクリックします。
5. バックアップファイルを保存する場所を指定します。
6. ファイル名を指定して、［保存］をクリックします。
7. ［閉じる］をクリックします。

本機の設定を復元する

管理者用設定ページの［リストア設定］タブをクリックして、バックアップファイルから本機の設定を復元するページを表示します。

重要

- 本機が修理から戻ったら、バックアップファイルから設定を復元します。修理後、本機の設定は初期設定に戻ります。

リストア設定

項目	説明
リストアするファイル	復元するファイルのファイルパスとファイル名を入力するか、［参照］をクリックしてファイルを選択します。

■リストアする

1. ［参照］をクリックします。
2. 復元するバックアップファイルの格納場所に進みます。
3. バックアップファイルを選び、［開く］をクリックします。
4. 必要な場合は、管理者のパスワードを入力してください。
5. ［OK］をクリックします。
6. 復元された設定内容を反映させるため、リストアの終了後に機器の電源を入れ直してください。

補足

- 設定が正しく復元されなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。もう一度バックアップファイルから設定を復元してください。

3

ヘルプを設定する

管理者用設定ページの［ヘルプの参照先設定］タブをクリックして、ヘルプファイルの設定をします。

3

ヘルプの参照先設定

項目	説明
ヘルプファイル	「ヘルプのインストール」に従って、ヘルプファイルを設定してください。

■ヘルプのインストール

1 CD-ROM の WIMHELP フォルダをハードディスクの任意の場所にコピーします。

ここでは、C:¥tmp¥WIMHELP にコピーする例で説明します。

2 Web Image Monitor にアクセスし、管理者用設定ページの［ヘルプの参照先設定］タブをクリックします。

［ヘルプの参照先設定］ページが表示されます。

3 テキスト入力部分に、以下のようにパスを入力します。

C:¥tmp¥WIMHELP

4 ［OK］をクリックします。

Web Image Monitor のヘルプを表示する

Web Image Monitor のヘルプをはじめて使用する場合、本機に付属の CD-ROM からソースファイルをインストールする必要があります。

補足

- ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］をクリックすると、通常は Web Image Monitor のヘルプの目次を表示します。
- メインエリアに表示された ? マークのアイコンをクリックすると、通常はメインエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

Smart Organizing Monitor を使う

Smart Organizing Monitor を使用すると、パソコンから給紙トレイやネットワーク関連の設定ができます。

また、本機の状態も Smart Organizing Monitor を使用して確認できます。

Smart Organizing Monitor でできることは以下のとおりです。

- 本機の状態と設定内容の表示
- エラーの発生場所とエラー解除方法の表示
- 消耗品の情報の表示
- システム設定リストの印刷
- 本機 IP アドレスの設定
- 給紙トレイにセットする用紙の設定
- 給紙トレイの設定
- 工場出荷時の設定の変更
- システム、アクセスコード、言語の設定
- ネットワークプロトコルの設定

3

補足

- 本機 IP アドレスの設定方法は、「本機の IP アドレスを手動で設定する」を参照してください。
- Smart Organizing Monitor for SP 3400 シリーズは、IPSiO 3410 専用のソフトウェアです。本機に同梱の Smart Organizing Monitor 以外で本機を管理をすることはできません。

参照

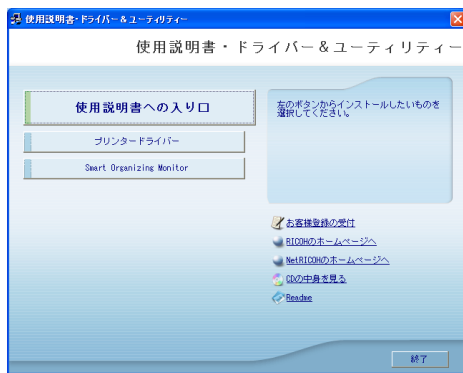
- P.13 「本機の IP アドレスを手動で設定する」

Smart Organizing Monitor のインストール

重要

- Smart Organizing Monitor をインストールする場合、Administrator グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。

Smart Organizing Monitor は、プリンタードライバーのインストール時に自動的にインストールされます。

また、本機に付属の CD-ROM をセットして表示される［使用説明書・ドライバー&ユーティリティ］ダイアログで［Smart Organizing Monitor］をクリックし、単体でインストールすることもできます。

Smart Organizing Monitor を単体でインストールした場合は、［プリンタードライバー］もインストールしてください。本機の設定を変更するために必要です。

Smart Organizing Monitor ダイアログを表示する

Smart Organizing Monitor ダイアログの表示方法は、インストール方法により異なります。

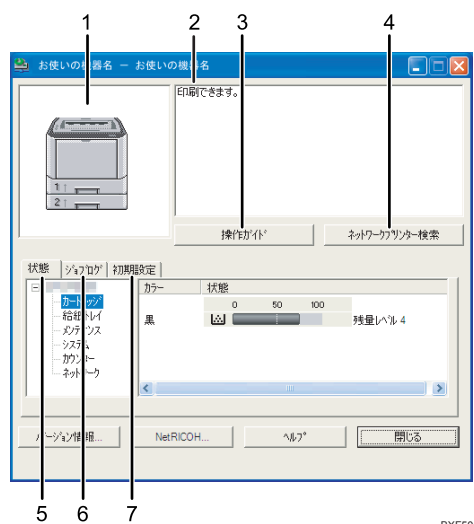
♦［Smart Organizing Monitor］からインストールした場合

［スタート］ボタンから、［すべてのプログラム］をポイントし、［Smart Organizing Monitor for SP 3400 シリーズ］ > ［Smart Organizing Monitor for SP 3400 シリーズのステータス］をクリックします。

♦［プリンタードライバー］からインストールした場合

印刷設定画面で、［Smart Organizing Monitor...］をクリックするか、プリンタープロパティ画面の［オプション構成］、［応用設定］または［用紙サイズ］タブで、［Smart Organizing Monitor...］をクリックします。

本機の状態を表示する

Smart Organizing Monitor 画面では、監視対象になっている本機の状態を確認できます。
本機の状態は、画像とコメントで表示されます。

1 本機の画像

給紙トレイのエラーが発生すると、アイコンで、エラーの発生箇所を示します。また、エラーの発生しているトレイは赤の縁取りで表示されます。

2 コメント

本機の現在の状態を表示します。また、エラー発生時にはエラーの解決方法を表示します。

3 ［操作ガイド］ボタン

発生したエラーに関するヘルプトピックを表示します。

この機能を使用するには、CD-ROM からマニュアルをインストールしてください。マニュアルのインストール方法については、『ハードウェアガイド』「HTML 形式の使用説明書のインストール」を参照してください。

4 ［ネットワークプリンター検索］

クリックしてネットワークプリンターを選択します。

5 ［状態］タブ

トナーレベルや、用紙の残量レベルを表示します。

6 ［ジョブログ］タブ

印刷ジョブに関する情報を表示します。

7 ［初期設定］タブ

テストページとシステム設定リストが印刷できます。また［プリンター設定］ダイアログの表示ができます。

補足

- Smart Organizing Monitor が複数のプリンターを監視している場合、[プリンタードライバーの選択]画面が表示されます。監視するプリンターで使用しているドライバーを選択し[OK]をクリックします。ネットワークプリンターの状態を確認する場合は、[ネットワークプリンター検索]をクリックします。
- USB 接続で印刷しているときは、プリンター情報の更新が正しく行われない場合があります。

プリンター情報を表示する

Smart Organizing Monitor ダイアログには、[状態]、[ジョブログ]、[初期設定]の 3 つのタブがあります。これらのタブでは、監視するプリンターの状態、ジョブ履歴、設定内容などの情報を表示できます。

プリンター状態の表示

[状態]タブをクリックすると、機器名とその下にツリーが表示されます。ツリー上のアイテムをクリックして詳細を確認できます。

♦ カートリッジ

トナーの残量状態が、数字でのレベル表示（残量レベル 1~5）、「残りわずか」、または「なし」で表示されます。

トナーの状態は、アイコンでも表示されます。

♦ 給紙トレイ

給紙トレイに関する以下の情報を確認できます。

- 給紙トレイ
  給紙トレイを表示します。
- 状態
  給紙トレイの状態が、「状態 OK」または「用紙なし」で表示されます。
- 用紙サイズ
  給紙トレイにセットされた用紙サイズが表示されます。
- 用紙種類
  給紙トレイにセットされた用紙の種類が表示されます。

◆ メンテナンス

消耗品の名称が表示され、残量状態がアイコンで表示されます。

◆ システム

モデル名やシステムバージョン、メモリーサイズなどのシステム情報が表示されます。

◆ カウンター

カウンター情報を表示します。

◆ ネットワーク

プリンターのコメント、IP アドレスなどのネットワークに関連した本機の情報が表示されます。

補足

- Smart Organizing Monitor ダイアログ内の項目について詳しくは、Smart Organizing Monitor のヘルプを参照してください。
- ［状態］タブに表示される情報は印刷して確認できます。詳しくは、「本機の設定内容を印刷する」を参照してください。

参照

- P.65 「本機の設定内容を印刷する」

ジョブ履歴を表示する

［ジョブログ］タブをクリックすると印刷ジョブの情報が一覧で表示されます。

表示される内容は以下のとおりです。

- ユーザー名
- ファイル名
- ページ数
- 開始日
- 状態

補足

- 通常は、［ユーザー名］には Windows へのログオン名が表示されます。

本機の設定内容を印刷する

［初期設定］タブでは、プリンター情報の一覧を印刷できます。

重要

- 本機が印刷している間は設定ページの印刷はできません。
- この機能を使用するためには、以下の条件が必要です。
  - 対象となるプリンターが Smart Organizing Monitor で監視されている。
  - 使用しているプリンタードライバーが Smart Organizing Monitor に対応している。

［テスト印刷］一覧から印刷したいリストを選択してください。以下のものが印刷できます。

♦ システム設定リスト

本機の設定内容や基本情報が印刷できます。

システム設定リストで確認できる内容について詳しくは、「システム設定リストの見かた」を参照してください。

♦ テストページ

テストページを印刷して機器の状態を確認できます。

システム設定リストの印刷を例に印刷方法を説明します。

1 ［初期設定］タブの［テスト印刷］一覧から［システム設定リスト］を選択します。

2 ［印刷］をクリックします。

システム設定リストが印刷されます。

参照

- P.72 「システム設定リストの見かた」

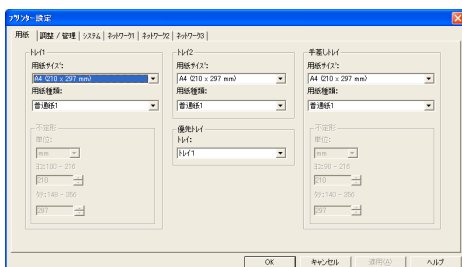
3

プリンター設定ダイアログについて

［プリンター設定］ダイアログでは本機の設定内容が変更できます。［プリンター設定］ダイアログで本機の設定を変更するには［初期設定］タブで、［プリンター設定］をクリックします。

重要

- ［プリンター設定］ダイアログは本機に印刷待ちのジョブがないときに使用できます。

［プリンター設定］ダイアログでは、以下の設定内容が変更できます。

- 用紙
- 調整 / 管理
- システム
- ネットワーク 1
- ネットワーク 2
- ネットワーク 3

補足

- ［プリンター設定］ダイアログで設定できる項目について詳しくは、Smart Organizing Monitor のヘルプを参照してください。

メニューとモードについて

［プリンター設定］ダイアログには、管理者モードかゲストモードでアクセスできます。ログインするモードによって、［プリンター設定］ダイアログに表示されるメニューは異なります。

◆ 管理者モード

［アクセスコード］ダイアログでアクセスコードを入力します。

管理者モードでは［プリンター設定］ダイアログのすべてのタブが使用できます。

補足

- アクセスコードについては、管理者にお問い合わせください。

◆ ゲストモード

ゲストモードでは［用紙］タブの設定のみ変更できます。

用紙設定を変更する

［用紙］タブでトレイごとに用紙サイズや用紙種類に関する設定が変更できます。

♦ トレイ 1

- 用紙サイズ
  トレイ 1 で設定可能な用紙サイズは次のとおりです。
  A4（210 × 297 mm）、B5（182 × 257 mm）、A5（148 ×210 mm）、B6（128 ×182 mm）、A6（105 ×148 mm）、8 $^1/_2$ × 14、8 $^1/_2$ × 11、5 $^1/_2$ × 8 $^1/_2$、7 $^1/_4$ × 10 $^1/_2$、8 × 13、8 $^1/_2$ × 13、8 $^1/_4$ × 13、郵便ハガキ、往復ハガキ、不定形
- 用紙種類
  トレイ 1 で使用できる用紙の種類は次のとおりです。
  薄紙、厚紙 1、厚紙 2、普通紙 1、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド、ボンド紙、カードストック、ラベル紙
- 不定形
  用紙サイズで［不定形］を選択した場合、用紙の設定をします。
  - 単位
    用紙サイズの単位を mm または inch で指定します。
  - ヨコ
    用紙の横幅のサイズを 100 mm から 216 mm で設定します。
  - タテ
    用紙の縦幅のサイズを 148 mm から 356 mm で設定します。

♦ トレイ 2

- 用紙サイズ
  トレイ 2 で設定可能な用紙サイズは次のとおりです。
  A4（210 × 297 mm）、B5（182 × 257 mm）、A5（148 ×210 mm）、8 $^1/_2$ × 14、8 $^1/_2$ × 11、5 $^1/_2$ × 8 $^1/_2$
- 用紙種類
  トレイ 2 で使用できる用紙の種類は次のとおりです。
  薄紙、厚紙 1、普通紙 1、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド

♦ 手差しトレイ

- 用紙サイズ
  手差しトレイで設定可能な用紙サイズは次のとおりです。
  A4（210 × 297 mm）、B5（182 × 257 mm）、A5（148 ×210 mm）、B6（128 ×182 mm）、A6（105 ×148 mm）、8 $^1/_2$ × 14、8 $^1/_2$ × 11、5 $^1/_2$ × 8 $^1/_2$、7 $^1/_4$ × 10 $^1/_2$、郵便ハガキ、往復ハガキ、不定形
- 用紙種類
  手差しトレイで使用できる用紙の種類は次のとおりです。
  薄紙、厚紙 1、厚紙 2、普通紙 1、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、レターヘッド、ボンド紙、カードストック、ラベル紙、封筒、OHP
- 不定形
  用紙サイズで［不定形］を選択した場合、用紙の設定をします。
  - 単位
    用紙サイズの単位を mm または inch で指定します。
  - ヨコ
    用紙の横幅のサイズを 90 mm から 216 mm で設定します。
  - タテ
    用紙の縦幅のサイズを 140 mm から 356 mm で設定します。

♦ **優先トレイ**

印刷データに一致する用紙が設定されたトレイが複数ある場合に優先的に使用するトレイを、次の中から選びます。
・トレイ 1
・トレイ 2
・手差しトレイ

印刷位置を調整する

［調整 / 管理］タブで、印刷位置の調整を行います。
通常は印刷条件の調整を行う必要はありませんが、特定の位置に印刷したい場合などに利用すると便利です。
［印刷位置調整：手差し］では、手差しトレイから印刷する場合、印刷位置の調整ができます。
調整結果は、［調整シート印刷］をクリックして確認してください。

基本的な機能の設定をする

［システム］タブでは本機の基本的な機能の設定を行います。工場出荷時の初期状態でも本機は使用できますが、ユーザーの使用条件に合わせて変更できます。変更された設定内容は電源を切ったあとも保存されます。
このタブでアクセスコードの変更ができます。

ネットワーク関連の変更をする

［ネットワーク 1］、［ネットワーク 2］、［ネットワーク 3］タブではネットワーク接続や通信の設定を行います。
この 3 つのタブでは、以下のような設定ができます。
・機器名や有効プロトコル、その他プリンターの情報の確認
・インターフェースの設定
・TCP/IP 設定の確認と変更
・SNMP や SMTP 設定の確認と変更
・メール通知設定

3

機器の状態をメールで通知する

本機にトナーや用紙切れ、紙詰まりなどのアラートが発生したとき、メール通知機能を使用して機器の状態を通知できます。

重要

- メール通知機能は、ネットワーク接続時のみ使用できます。
- メールソフトによっては、メールを受信したときに、フィッシングの警告が出る可能性があります。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照の上、送信者を警告対象外に設定してください。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。アラートを通知するタイミングや状態なども設定できます。

以下の場合、メール通知できるよう設定できます。

- 紙づまりがおきた場合
- トナーの残りがわずかになった場合
- トナーがなくなった場合
- 紙がなくなった場合
- サービスコールが発生した場合
- カバーオープンが検知された場合

1 **Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

2 **左フレーム内のメニューで［ネットワークの設定］をクリックします。**

3 **［アラートメッセージ］をクリックします。**

4 **[表示名] に、通知電子メールで使用される送信者名を入力してください。**

5 **[通知先メールアドレス］に、受取人の電子メールアドレスに入力してください。**

6 **メール送信されるエラー内容を選んでください。**

7 **必要に応じて、管理者パスワードを入力してください。**

8 **［OK］をクリックします。**

補足

- メール通知機能の設定は、Smart Organizing Monitor でも設定できます。

参照

- P.70 「メールの認証について」

メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。
SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を行うことで SMTP サーバーの不正利用を防止します。
SMTP 認証の設定方法を説明します。

1. Web Image Monitor の左フレーム内のメニューで［ネットワークの設定］をクリックします。
2. ［ネットワークの設定］画面で［SMTP］タブを選択します。
3. ［Primary SMTP/POP3 Server］に IP アドレスか、SMTP/POP3 サーバー名を入力します。
4. 必要に応じて［ポート番号］を入力します。
5. ［認証］で認証方式を選択します。
6. ［認証ユーザー名］、［認証パスワード］、［管理者メールアドレス］を入力します。
7. 必要に応じて［サーバータイムアウト］を入力します。
8. ［OK］をクリックします。
9. Web ブラウザーを閉じます。

SNMP

SNMP を使って本機の情報を取得できます。
本機内蔵のイーサネットインターフェースでは UDP 上で動作する SNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。

重要

- Smart Organizing Monitor で本機を検索するには、［Get コミュニティー名］を「public」として使用してください。

工場出荷時のコミュニティー名には「public」が設定されています。このコミュニティー名で MIB 情報を取得することができます。

システム設定リストの見かた

［プリンター設定］ダイアログで設定した内容が印刷されます。システム設定リストの印刷例を示します。ご使用のプリンターの設定や状態により、ここに示す例とは異なる場合があります。

3

1 システムコウセイジョウホウ

本機のバージョン情報やメモリー容量、トナー残量などが印刷されます。

2 ヨウシ

優先給紙トレイとトレイにセットされている用紙のサイズと種類が印刷されます。

3 チョウセイ／カンリ

印刷位置設定など、調整／管理メニューの設定項目が印刷されます。

4 システム

システム設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

5 インターフェースセッテイ

インターフェース設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

6 インターフェースジョウホウ
本機の物理アドレス (MAC アドレス) と、ホスト名が印刷されます。

7 カウンターリスト
現在のカウンター情報が印刷されます。

8 ヨウシヅマリカウンター
トレイごとの用紙づまり枚数が印刷されます。

9 エラーログ
エラーログが印刷されます。

補足

- ［プリンター設定］ダイアログについて詳しくは、「プリンター設定ダイアログについて」を参照ください。

参照

- P.66 「プリンター設定ダイアログについて」

4. 付録

同梱の CD-ROM や、その他の注意事項等についての説明です。

CD-ROM 収録ソフトウェア

ここでは、本機に同梱されている CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」について説明しています。

ファイル一覧

CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」に入っているファイルの一覧です。

ファイル名	参照
SETUP.EXE	P.7 「印刷するための準備」
プリンタードライバー（Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 用）	P.75 「プリンタードライバー」
Smart Organizing Monitor	P.76 「Smart Organizing Monitor」
各種マニュアル	P.76 「各種マニュアル」

プリンタードライバー

Windows を使用して印刷するために必要なソフトウェアです。

格納場所と動作環境について

ファイルの格納場所と動作環境について説明します。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 用プリンタードライバー
  `DRIVERS¥PRINTER¥XP_VISTA¥DISK1`

♦ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン
  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機
- 対象 OS
  Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 日本語版
- ディスプレイ解像度
  1024×768 ドット以上

補足

・使用方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Smart Organizing Monitor

Smart Organizing Monitorを使用すると、パソコンから給紙トレイやネットワーク関連の設定を行うことができます。Smart Organizing Monitorについて詳しくは、「Smart Organizing Monitorを使う」を参照してください。

♦ ファイル格納場所

Windowsの場合は、同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY

参照

・P.60 「Smart Organizing Monitorを使う」

各種マニュアル

付属のCD-ROMには、HTML形式とPDF形式の使用説明書が収録されています。
各種マニュアルのファイル格納場所についての説明です。

HTML形式の使用説明書

♦ ファイル格納場所

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

MANUAL_HTML

PDF形式の使用説明書

♦ ファイル格納場所

同梱のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

MANUAL_PDF

プリントサーバーを使用する

プリントサーバーを使用するための設定方法について説明します。
以下の手順でネットワークプリンターを設定してください。

重要

・管理者権限が必要です。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。［ハードウェアとサウンド］のカテゴリーの中から、［プリンタ］をクリックします。

2 **追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

本機のプロパティが表示されます。

3 **［共有］タブをクリックし、［このプリンタを共有する］を選択します。**

4 **本機をほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、［追加ドライバ］をクリックしてインストールする OS を選択し、［OK］をクリックします。**

プリンタードライバーをインストールしたときに、「共有」にチェックを付けて代替ドライバーをインストールした場合、この操作は必要ありません。

5 **［詳細設定］タブの［標準の設定］ボタンから、クライアントに配布するドライバーの初期値を設定し、［OK］をクリックします。**

6 **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

4

Windows からのファイル直接印刷

lpr および ftp コマンドを使って印刷できます。

重要

・この方法で印刷できるファイルは、ドライバーで作成されたファイルのみです。

セットアップ

Windows からファイルを直接印刷するための、環境設定の方法について説明します。
以下の手順でセットアップを行ってください。

4

1 Smart Organizing Monitor を使用して TCP/IP プロトコルを有効にし、IP アドレスなど TCP/IP に関するネットワーク環境を設定します。

本機の TCP/IP プロトコルは、工場出荷時は［有効］に設定されています。

2 Windows に TCP/IP プロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

ネットワークに関する設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。
DHCP を使用して本機の IPv4 アドレスを設定できます。詳しくは「DHCP を使用する」を参照してください。

3 ネットワークソフトウェアとして「UNIX 用印刷サービス」を組み込みます。

補足

・「UNIX 用印刷サービス」について詳しくは、Windows ヘルプを参照してください。

参照

・P.80 「DHCP を使用する」

印刷方法

lpr や ftp コマンドを使った印刷方法の説明です。
コマンドはコマンドプロンプトウィンドウで入力します。各 Windows でのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

・Windows 2000 の場合
　［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］
・Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 の場合
　［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］

補足

・「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求が満杯の状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
　・lpr: 10
　・ftp: 3
・ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

lpr

♦ **IP アドレスを使って本機を指定する場合**

```
c:> lpr -S プリンターのIPアドレス -P プリンター名 [-o l] ¥パス¥ファイル名
```

♦ **IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合**

```
c:> lpr -S プリンターのホスト名 -P プリンター名 [-o l] ¥パス¥ファイル名
```

バイナリーファイルを印刷する場合は -o l（小文字の O と、小文字の L）オプションを付けてください。

ftp

印刷するファイル数に応じて put または mput コマンドを使います。

♦ **印刷するファイルが 1 つの場合**

```
ftp>put ¥パス¥ファイル名 [ オプション ]
```

♦ **印刷するファイルが複数の場合**

```
ftp>mput ¥パス¥ファイル名 [¥パス¥ファイル名 ]
```

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 本機の IP アドレスを引数にして ftp コマンドを起動します。

```
C:> ftp  本機のアドレス
```

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

```
User:sysadm
Password:sysadm
```

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

4 印刷するファイルを指定します。

以下は C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 と file2 を印刷する例です。

```
ftp>mput  C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

5 ftp を終了します。

```
ftp> bye
```

補足

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- mput コマンドではオプションを指定できません。
- pwd コマンドではオプションを指定できません。
- mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。
- C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 と file2 という名前のファイルを印刷する例

```
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 file2
```

4

ネットワークで運用する場合の注意事項

DHCP を使用する

本機は DHCP 環境で使用できます。

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows 2000 Server、Windows Server 2003/2003 R2、および Windows Server 2008 です。
- DHCP リレーエージェントには対応していません。ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線に接続され、多大な通信料がかかることがあります。
- 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx で始まるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

本機の IP アドレスに、AutoNet 機能で自動選択された IP アドレスを設定すると、本機の電源を切るたびに IP アドレスは変更されます。

ご使用のネットワーク環境に適した、IP アドレスを設定することをお勧めします。

補足

- 本機が使用している IPv4 アドレスはテストページで確認できます。テストページの印刷方法は、「テストページを印刷する」を参照してください。

参照

- P.10 「テストページを印刷する」

Windows ターミナルサービス／ Citrix Presentation Server ／ Citrix Xen App を使用する場合

詳細については、以下のリコーのホームページを参照してください。

♦ 対応状況について
http://ricoh.co.jp/IPSiO/os/meta.html

♦ 制約事項と補足について
http://ricoh.co.jp/IPSiO/os/meta_sub.html

索引

アルファベット索引

100BASE-TX 7
10BASE-T 7
AutoNet 機能 80
DHCP 48, 80
DNS 設定 50
ftp 79
ftp コマンド 78
IP アドレス 10, 13, 48
lpr コマンド 78
MAC アドレス 10
Smart Organizing Monitor 12, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 76
SMTP 設定 53
SNMP 71
SNMP 設定 52
Standard TCP/IP 7
USB 接続 19, 21
Web Image Monitor 41
Windows 2000 25
Windows Server 2003/2003 R2 28
Windows Server 2008 31
Windows Vista 31
Windows XP 28
Windows 印刷ポート 7
Windows ターミナルサービス 81
Windows ネットワーク環境 10
Windows ネットワークプリンター 8, 17

あ行

アクセスコード 66
アラートメッセージ 51
安全上のご注意 4
イーサネット 7
印刷設定の表示 26, 29, 32
印刷の中止 37
印刷プロトコル 49
印刷方法 78
インストール 10, 12, 14, 19, 61

か行

カウンター 44
格納場所 76
格納場所と動作環境 75
かんたんセットアップ 4
管理者設定 55
管理者パスワード 55
管理者モード 66
機器情報 45
機器の状態 43
基本的な使いかた 34
クイックガイド 4
ゲストモード 66

さ行

サブネットマスク 48
システム情報 43
システム設定リスト 54, 65, 72
システムタブ 68
使用説明書一覧表 5
使用説明書について 4
使用説明書の説明 4
状態タブ 63
状態の表示 62
初期設定タブ 65, 66
ジョブ履歴の表示 64
ジョブログタブ 64
スタンプ印字 40
接続方法 7, 8
設定値初期化 55
設定内容の変更 66
セットアップ 78
操作部 37
双方向通信 23
双方向通信が可能な条件 24
ソート 39
ソフトウェアガイド 4

た行

調整 / 管理 68
テストページ 65
テストページの印刷 10
デフォルトゲートウェイアドレス 48
デフォルト設定 55
トップページ 42
ドライバー＆ユーティリティー 75

な行

ネットワーク 1 タブ 68
ネットワーク 2 タブ 68
ネットワーク 3 タブ 68
ネットワーク関連の変更 68
ネットワーク接続 7, 18
ネットワーク設定 48
ネットワークプリンター検索 62
ネットワークプリンターの
検索に失敗した場合 16

は行

ハードウェアガイド 4
バックアップ 56
表示言語 43
表紙の印刷 39
表示方法 42, 61
ファイル直接印刷 78
プリンター状態の表示 63
プリンター情報の表示 63
プリンター設定 65, 66
プリンター設定ダイアログ 66
プリンタードライバー 75
プリンタードライバー（インストール）... 9
プリンタードライバー画面と
設定方法 25, 28, 31
プリンタードライバー（サポート）..... 9
プリンタードライバー（ダウンロード）... 9
プリンタードライバーの
インストール 10, 19
プリンタードライバーの選択 62
プリンターファームウェア
アップデート 68
プリントサーバー 8
プリントサーバーを使用する 77
プロパティの表示 ... 25, 27, 28, 30, 31, 33
ヘルプ設定 58
ヘルプの参照先設定 58
ヘルプの表示 59
ポートの設定の変更 16
本書のマーク 5

ま行

マニュアル 76
メール通知 69
メールの認証 70

や行

用紙エラー 35
用紙設定 46, 67

ら行

リストア 57
レポート 54
ローカル接続 8

商標

- Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated （アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Citrix®、Citrix Presentation Server、Citrix XenApp は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における登録商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

*MS-DOS の製品名は Microsoft® MS-DOS® です。

*Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® 2000 Server
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

*Windows XP の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® XP Professional
Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Media Center Edition
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

*Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Microsoft® Windows Vista® Business
Microsoft® Windows Vista® Home Premium
Microsoft® Windows Vista® Home Basic
Microsoft® Windows Vista® Enterprise

*Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

*Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

*Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft ® Windows Server® 2008 Standard
Microsoft ® Windows Server® 2008 Enterprise

重要

・本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
・本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり
1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP 3410 ソフトウェアガイド

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOH のホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120 FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時　（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA (JP) 2009年10月 M013-8503